



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edupref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

4月の行事予定

Calendar table for April with columns for date, day of week, and event details.

第六十一期生がこの3月に巣立って行った。一人ひとりの生徒がこの鶴丸で友や教師と出会い、日々の活動や学校行事を通して、それぞれの「帰らざる三年」を過ごしてきたことと思う。本校に入学してくる生徒達は全員が中学校での成績優秀者、これは紛れもない事実である。ただし、これは高校入試というレベルで見たとくきのものであり、本当の意味で学ぶ姿勢を身につけて入学してくる生徒は少ない。

失敗は失敗ではない 三学年主任 福崎 功

3月2日火、柔らかな春の日差しが降り注ぐなか、第61回の卒業式が挙行され、晴れたこの日を迎えた30名の卒業生たちが学び舎を巣立っていった。式辞では学校長より「一、学びを究め真に人間的な生き方を志す。二、志を胸に抱き、知恵を広げ、社会に貢献できる人間になってほしい。三、優しい心を持つ、知恵を強くしてほしい。また「これからの社会で求められる人材となつて、新しい時代を切り拓いていってほしい。」という在校生代表の放生會雄地君からの送辞に対し、「鶴丸生は卒業してはじめて『真の鶴丸生』になるという言葉の意味がようやく見えてきました。これからは探求心を持ち、己を高めようとする姿勢を持ち続けようと思います。」と卒業生代表の山下美菜子さんが答辞を述べた。



第61回卒業式

2月26日(金)、ベネッセの竹内健一先生を講師にお招きして、「夢実現に向けて」という演題で1学年進路講演会が行われた。全国の先輩達の具体例を挙げながら、主に2年生の0学期の重要性を熱く語ってくださった。生徒達にとっては、「受験勉強の敵」に自分が負けていることや普段の勉強の積み重ねが何より大切であることを、日頃指摘されていることを見つめ直す良い機会となったようだ。先生が冒頭で述べられた「母校・同級生を愛する気持ち」を胸に秘め、2学年に向けて大きく成長してくれるに違いない。

一学年進路講演会



豊かな社会にしよう 防犯教室をとらして



この目的は学校運営や教育活動について、その成果・問題点を明らかにし、更に保護者のニーズを把握することでよりよい教育活動の展開を図ると同時に、学校に対する保護者の皆様の関心や理解を深めていただくことです。学校関係者評価委員会が内容を検討した20の項目について、保護者の方に1・2・3・4の四段階で評価し、併せて改善策や意見等を書いていただきました。アンケートの結果、「1:よく当てはまる」2:やや当てはまる」という肯定的な評価は、ほとんどの項目で80%以上の高い割合を占めており、特に「1:よく当てはまる」は、18項目で昨年を上回り大きく改善されています。特に評価が高かった項目は、次の項目です。

保護者による学校評価の結果報告

- 1 文化祭・体育祭など、諸行事に生徒が積極的に関わっている。 98.7%
2 本校の建学の理念(校訓)は日々の教育に生かされている。 96.0%
3 信頼できる友人が多く、良い刺激を受けている。 96.6%
4 生徒の動静(欠席・遅刻・早退等)について保護者との連携が良くとれている。 96.3%
5 本年度の努力目標は学校の実態を踏まえた目標設定である。 96.1%

ありがとうございました

平成22年度定期人事異動が発表されました。転退職の先生方は次の通りです。

- 校長 小倉寛恒 定年退職
教頭 鎌田英彦 定年退職
事務長 野田章洋 定年退職
国語科 紺屋宏昭 教職員課 主査
国語科 山下明子 新採指導教員退職
国語科 中村隆治 大島北高校
国語科 山吉信章 加治木高校
数学科 福崎 功 定年退職
理科 迫田淳一 指宿高校
保健科 横道孝輝 定年退職
英語科 今村勝範 定年退職
英語科 濱口武仁 大島高校
養護教諭 矢野寿世 川内高校
事務主査 俣木三美 県立奄美図書館専門員
事務主事 上蘭良平 事務職員として新規採用

今まで本当にありがとうございました。新天地での御活躍を心よりお祈り申し上げます。

Calendar table for the remainder of the year (May to December) with columns for date, day of week, and event details.